（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	安曇野ほうきプロジェクト事業
事業主体 （連絡先）	安曇野ほうきプロジェクト 〒399-8303　安曇野市穂高 5971 番１号
事業区分	（6）オ　その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	852,435 円（うち支援金：520,000 円）

事 業 内 容

1、安曇野市有明地区において、野生動物による農作物や民家への被害を抑制する。
2、ほうき作りの伝統技術の継承。
3、１と２をふまえ、遊休農地を活用して野生動物が食べないとされるホウキモロコシを栽培し、畑に常に人がいることで野生動物の出没を減らすことを目指す。また、当事業で栽培・収穫したホウキモロコシを使用して「安曇野ほうき」を製作する講習会を開催し伝統技術の継承を図る。製作した安曇野ほうきを地域の特産品としてクラフトイベント等で販売し、当事業の認知度を高める。

・ホウキモロコシ栽培、収穫作業　５月～８月
・ほうき・ちりとり製作講習会　７月～12 月
・クラフトイベント　５月～11 月

【収穫】　　【ほうき製作】

【目標・ねらい】

①野生動物による農作物被害を抑制
②ホウキモロコシ栽培とほうき製作体験の実施
③特産品として地域振興を促す

事 業 効 果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

・農作物被害件数　令和６年度　０件、令和７年度　０件
・栽培体験　　参加人数　延べ 94 人（目標：90 人）
・製作講習会　参加人数　延べ 79 人（目標：70 人）
・ワークショップ　参加人数　５人　（目標：10 人）
・中学校出張講座　参加人数　101 人（目標：０人）

栽培、製作体験を通じて遊休農地の活用、野生動物と人間の生活圏を区別する緩衝帯の形成、伝承技術継承を行うことが出来た。参加者は地域住民を中心に県内各所から訪れ、活動の広がりを感じた。

今年度初めて地元中学校で出張講座を行った。次世代を担う子どもたちに地域の魅力を再確認してもらえた。

※自己評価【　A　】

【理由】
・野生動物の出没を抑制することに寄与できた。
・県内各所から参加者が訪れ、認知度が高まってきている。
・安曇野ほうきの売上が昨年よりも増加した。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。（今後の事業展開、取組の継続に向けた財源確保など）。

・来年度以降も同栽培畑においてホウキモロコシの栽培、収穫を行う。また、他地域でほうき作りを実践している団体と積極的に交流を持ち、伝統技術を習得・継承していく。
・安曇野市市民活動サポートセンターやＳＮＳを活用して、地域住民に活動情報を広く発信していく。
・活動を継続させるため、講習会参加者を中心に「安曇野ほうき」の周知と製作人材育成に取り組む。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある